

# 躍

いきいき狭山人  
びと

現在、二酸化炭素の排出が主な要因と思われる地球温暖化や、大量消費、大量廃棄や産業廃棄物の不法投棄による環境破壊が地球規模の問題となつています。そんな中、地道に地域の清掃やポイ捨てされたごみを回収し、まちの

誰もが気持ちよく過ごせるように  
地域の皆さんと協力し合いながら  
ごみのない美しいまちにしていきたい



定期的な清掃活動は継続することが大切

美化活動に積極的に取り組む、実践している方がいます。「この活動を始めたきっかけは、地区の皆さんとの清掃活動でした」と話すのは、狭山市環境衛生連合会会長の若津昭さん。若津さんは平成3年に祇園地区の環境衛生委員会の活動を始め、数々の役職を歴任された後、18年に同連合会の会長に就任されました。この間、不法投棄ごみの回収や地区内の清掃だけでなく、11年の「狭山市ポイ捨てに関する防止条例」の施行の際には駅前ポイ捨て防止キャンペーンなどの公衆衛生思想の普及啓発活動に積極的に参加されました。また、17年には日本たばこ産業が提案した「灰皿里親制度」を取り入れ、灰皿の設置と吸殻の回収を一人で行いながら地域の環境美化活動などを続けてきました。その長年の功績が評価され、このたび、平成20年度環境大臣表彰「地域環境美化功績者表彰」

を受賞されました。若津さんは現在も、週に2回、自宅周辺から狭山市駅前付近まで、早朝の清掃活動を行っています。ポイ捨てされたたばこの吸殻やペットボトルなどを回収したり、「灰皿里親制度」により導入した5か所の灰皿の吸殻を集めています。月により異なりますが、多いときには月1万2千本を数えることもあり、その数の多さに驚いています。また同時に、導入前に比べ、ポイ捨てされる吸殻の数が減ってきていることで、ポイ捨て防止のために設置した灰皿の成果の大きさを感じています。

「たばこの吸殻に限らず、ポイ捨てされるごみを少なくするためには、地域の皆さんと協力し、定期的に清掃活動や衛生美化に関する啓発活動を行いながら、常にまちをきれいに保てるよう努力し続けることが重要だと思えます」と、地域と連携しながら取り組むことの大切さを強調します。最後に「この活動をおして、皆さんに少しずつ環境美化に対して意識を高めてもらえるよう働きかけていきたいと思えます。そのための「努力と継続」は惜しみません」と話してくれました。



平成20年度環境大臣表彰の「地域環境美化功績者表彰」を受賞

若津 昭さん(祇園在住)

市民みなさんの声

# オピニオン

## 健康増進に水中ウォーキングを



千葉哲男さん  
(下奥富在住)

健康で日常生活をいかに快適に過ごすか、生活の質をいかに高めるかは、とても重要な課題です。

私は、適度な運動が健康管理に最も欠かせないものと思っています。中でも水中ウォーキングは、ダイエット、メタボ予防、腰痛軽減などに効果があり、老若男女だれにでもお勧め

できる運動の一つです。私は定年退職後に持病の腰痛が悪化したのをきっかけに、医者のお勧めもあって10年前から水中ウォーキングを始めました。現在は、サピオ稲荷山とサンパーク奥富に週2回ずつ通い、汗を流してリフレッシュしています。どちらの施設も手軽に適度な運動をするには最適です。健康管理のため、体脂肪計などの機器があればもっといいですね。

市の施設を有効に使って、皆さんも健康増進に役立ててみてはいかがでしょうか。私はボランティアで水中ウォーキングの指導をお手伝いしていますので、プールで見かけたら気軽に声をかけてください。

### 市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。

サピオ稲荷山やサンパーク奥富などは、市民の触れ合いの場、健康管理の場として多くの方にご利用いただいています。特にサピオ稲荷山は、健康増進施設としての機能を十分活用して、平成18年度から民間活力を導入した指定管理者制度により安全・安心な施設管理に努めながら、水泳教室などを中心とした自主事業を積極的に実施しています。

今後も、指定管理者ともども利用者のニーズに沿った施設づくりに努力していきますので、皆さんのご利用をお願いいたします。

担当 健康推進課

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)  
✉koho@city.sayama.saitama.jp

皆さんも一緒に始めませんか。問合せ田村きく榮さんへ  
2942 2288

私の宝物 ...

## 楽しみは「友達」との時間

私の宝物は、4年前に手に入れたハーレーダビッドソンXLH883です。その魅力は、深い味わいと重量感で、エンジンの重低音はその魅力を一層際立たせます。



深澤 仁さん

今の楽しみは、このバイク（狭山台在住）で出かける週末のツーリングです。自然の中を風を切って走っていると、普段の生活の疲れやストレスを忘れ、そうかいな気分



通称ばばさんと呼ばれる自慢の愛車

にさせてくれます。また、ほかのライダーとも愛車をとおしてすぐに仲良くなり、楽しい時間を提供してくれます。そんなバイクとは、これからも良き「友達」として長く付き合っていきたいと思っています。

次回は狭山台にお住まいの方をご紹介します。

# Hello ハロー仲間たち

Vol.324



囲碁を通じて地域の人たちとの交流が深まりました

## 婦人囲碁同好会

私たちの会は昭和55年に発足し、28年間にわたって人間公民館で活動を続けています。現在会員数は20名で、名前のとおり女性だけの同好会ですが、アドバンス役として男性も数名参加していただいています。

会員はおおむね50歳から90歳近くまでの幅広い年齢ですが、囲碁はとても楽しく、互いにすぐ打ち解け合います。一般的に難しいというイメージとは違い、続けるほどに面白さが増して、生涯楽しめるものです。

毎週木曜日の活動日は、ほぼ一日中対局に没頭するので、私たちが、囲碁の一局として同じ形がない奥深さと感動を相手と味わうことが大切と考えていますので、あまり勝ち負けにはこだわっていません。

囲碁を通じて集まった私たちは、本当にみんな仲がよく、親睦旅行でも、家事を忘れて思う存分、囲碁をしてしまいます。

私たちは、老化防止にも大いに役立つ囲碁を生活の一部にすることで、自分らしく元気に暮らしたいと考えています。

皆さんも一緒に始めませんか。問合せ田村きく榮さんへ

2942 2288